

ネコの肺

岩手大学

〔動物〕 ネコ，エキゾチックショートヘア，雄，4歳

〔臨床症状〕 本例は某研究施設で飼育されていた1頭で，横臥した状態で発見された．頭部を除く全身の被毛は皮膚糸状菌症の治療のため剃毛されていた．低体温，徐脈，意識混濁，高度脱水がみられたため輸液投与を行ったが，7日後に死亡した．

〔剖検所見〕 栄養状態は不良で重度に消瘦していた．四肢の肉球には潰瘍が形成されていた．肺は湿潤で左肺前葉には径2 cmに至る出血巣が散在していた．

〔診断〕

病理組織学的診断：気管支間質性肺炎，線維素壊死性，び漫性，重度，好酸性～両染性核内封入体および合胞体を伴う

疾病診断名 / 疾病名：猫ヘルペスウイルス（1型）性肺炎 / 猫ウイルス性鼻気管炎

〔考察〕 主な組織学的変化は気管支粘膜および気管支周囲の肺胞壁の壊死，好酸性から両染性の核内封入体と合胞体の形成，肺胞内への多病巣性からび漫性の出血および漿液，線維素，マクロファージ，好中球の中等度の滲出であった．免疫染色では気管支上皮，合胞体，壊死巣が猫ヘルペスウイルス1（FHV-1）抗原陽性となった．超微形態学的には封入体を有する上皮細胞の細胞質内に，厚いエンベロープおよび正20面体のカプシドを特徴とする径約200 nmの成熟ウイルス粒子が認められた．以上の成績から，上記診断とした．FHV-1はアルファヘルペスウイルス亜科バリセロウイルス属の2本鎖DNAウイルスで，猫ウイルス性鼻気管炎の原因として知られている．FHV-1は37℃以下の低温で活発に複製，増殖するため，鼻炎や結膜炎など表層の病変形成が一般的であるが，幼齢や免疫不全に陥ったネコでは重度の感染となり，まれに肺炎を認める．本例は成猫であったが，四肢肉球の潰瘍が悪化して起立困難となり，食欲不振，重度消瘦を示した．全身性の皮膚糸状菌症を発症していたことから免疫能は低下していたと考えられる．死亡する7日前に低体温となったことから，ウイルス複製が促進されて急性肺炎となり死亡したと推察される．本疾患はネコの代表的なウイルス感染症で広く知られているが，肺病変は珍しいこと，本研修会では過去に出題されていないことから提出した．（若山映令彩・落合謙爾）

〔参考文献〕

- 1) Monne Rodriguez JM, *et al.* Feline Herpesvirus Pneumonia: Investigations Into the Pathogenesis. *Vet Pathol* 54: 922-932, 2017
- 2) Chvala-Mannsberger S, *et al.* Occurrence, morphological characterization and antigen localization of Felid herpesvirus-induced pneumonia in cats: a retrospective study (2000-2006). *J Comp Pathol* 141:163-169, 2009